

特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟

2020年度 第1回理事会

議事録

日時：2020年10月10日（土）13:00～15:10

場所：リモート開催

出席者：椎名茂、古市隆一、隅野礼雄、安藤佳代子、鈴木久三郎、保科実、山口聖子、東海林史朗、井上真司、小林清美、岩間秀子、大日方邦子、渡辺孝次、荒井秀樹、狩野亮、夏目堅司、徳田康、櫻本利幸、藤本泰輔、中村実彦（20名）

委任出席者：二星謙一、新田佳浩、内海けい（3名）

欠席理事：中村勝彦（1名）

出席監事：宮田隆司（1名）

欠席監事：大内智（1名）

オブザーバー：高浜成行（1名）

椎名会長より定足数の確認がなされ、24名中名出席23名（委任状出席を含め）であり、定足数を満たし本会は成立するとの発言がなされた。議事録署名人には、古市理事、隅野理事が指名され了承された。書記には、事務局石丸が指名された。

会長より次第の確認がなされ、定款の則り議長は会長が行うことが確認され会議が開始された。

【会長挨拶】

椎名：審議事項にもありますが、中長期計画（案）を策定しました。現在の助成金や協賛金に収入を頼った運営から、独り立ち出来るような連盟にしたいと考えています。是非皆さんの知恵を貸していただきたい。

【審議事項】

1. 2019年度決算と2020年度予算について

鈴木：2019年度決算資料に沿って、収入と支出について説明がされた。2019年度はコロナウイルスの影響で事業が縮小または中止になったため、2018年度と比べると収入・支出ともに減少しています。繰越金は対前年7000万円程増加しました。2020年度予算資料に沿って、収入と支出について説明がされた。収入では強化5チームの助成金が大幅に増加しました。支出では普及事業のワールドカップ国内開催により普及委員会の支出が大幅に増えています。

議長：2019年度決算と2020年度予算について承認を求めたところ、全員一致で承認された。

2. 2019年度の各委員会の事業報告について

大日方：パラアルペンチームの事業報告について説明がされた。

東海林：IDアルペンチームの事業報告について説明がされた。

渡辺：パラノルディックチームと ID ノルディックチームの事業報告について説明がされた。パラノルディックは競技別、クラス別に合宿を行っているので事業数が多くなっています。

ID ノルディックは本州と北海道に分けて合宿を実施しています。パラ復帰のためのトレーニングキャンプは 1 回しか実施されませんでした。

大日方：二星 SB 委員長に代わりスノーボードチームの事業報告について説明がされた。

保科：総務委員会の事業報告について説明がされた。

鈴木：財務委員会の事業報告について説明がされた。

岩間：アンチ・ドーピング委員会の事業報告について説明がされた。2020 年度になってからですが、JADA への単体加盟が出来ました。今、日本スポーツフェアネス推進機構への加盟申請中です。

山口：クラシフィケーション委員会の事業報告について説明がされた。

石丸：椎名用具開発委員長に代わり用具開発委員会の事業報告について説明を行った。

大日方：強化本部と女性委員会の事業報告について説明がされた。

石丸：選手委員会と国際委員会の事業報告について説明を行った。

安藤：普及委員会の事業報告について説明がされた。コロナで事業が思うように実施できませんでした。

隅野：広報委員会とマーケティング委員会の事業報告について説明がされた。

議長：2019 年度の各委員会の事業報告について承認を求めたところ、全員一致で承認された。

3. 定款変更について

古市：現在理事の方々に連盟の活動を支えてもらっているが、兼任の方が多く仕事量も多くなっています。理事の数を増やして兼任をなくし適正な仕事量にすることが必要と考え、理事の数を現状上限 25 名から 30 名に増やしたいと考えています。

椎名：人数が多いと意思決定が遅くなると一般的に思われていますが、この組織ではそのようなことなく、意思決定は適正に今後も行われると考えています。

議長：定款変更について承認を求めたところ、全員一致で承認された。

4. 強化指定選手、競技者登録、次世代 ID アスリート選考、各規程の改訂について

石丸：強化指定選手規程と次世代 ID アスリート選考規程については、INAS から VIRTUS への名称変更を反映した変更です。

競技者登録規程は、登録料の支払い方法が振込以外にカード決済が出来るようになったことや登録方法が郵送以外の方法も利用可能になったことを規程に反映するための変更です。

議長：規程改定について、承認を求めたところ全員一致で承認された。

5. 法人カードの新規発行について

石丸：パラアルペンチームの伴さん（堀口コーチの代わりに）と ID ノルディックチームの嶋田さん（金谷コーチの代わりに）に法人カードを発行することの申請があったことを報告し、法人カード規程により理事会の議決が必要なことを説明しました。

議長：伴さんと嶋田さんに法人カードを発行することについて承認を求めたところ、全員一致で承認された。

6. 女性役員割合の目標設定について

石丸：ガバナンスコード上、女性役員割合の目標設定を定めることが求められています。現状では 20%程の女性役員割合ですがこれを 40%までに増やしていくよう理事会において計画的に進めてもらいたい。

椎名：40%の目標を設定してこれから実現に向けて理事全員で候補者を探る努力をお願いします。中長期計画の中でもこの目標は明示するようにします。

議長：女性役員割合を目標 40%に設定することについて承認を求めたところ、全員一致で承認された。

7. パラアルペンチームの強化指定選手の追加について

大日方：2020 年度の強化選手選考基準に基づき「村岡桃佳」を C 指定に、「小池岳太」と「青木大和」（クラス分け判定はこれから）を次世代シニアに指定することについて承認をいただきたい。また、報告ですが佐藤林平が引退すると届出がありました。

議長：村岡選手、小池選手、青木選手の強化指定について承認を求めたところ、全員一致で承認された。

8. 中長期計画について

椎名：挨拶でも話をしましたが、2030 年までの中長期計画（案）を策定しました。

これから各委員長に自らの委員会の中長期計画を考えてもらい連盟として外部へも公表出来るものに仕上げていきたい。特に力を入れたいのは、ブラインド選手の発掘・ID 競技の普及・普及活動を中心とした全国の組織作りと考えています。

議長：中長期計画の策定について承認を求めたところ、全員一致で承認された。

【報告事項】

1. 強化5チームの予算と事業計画について

石丸：前回の理事会の際には、5チームの助成金は決まっていなかったため、決定した助成金額と見直しした事業計画について各チームより説明をお願いします。

大日方：パラアルペンチームの事業計画について説明がされた。

東海林：IDアルペンチームの事業計画について説明がされた。コーチを変更したため国内の合宿数を増やしました。

渡辺：パラノルディックチームの事業計画について説明がされた。事業報告でも説明したようにグループ分けにしてコロナ対策で少人数（20名以下）の合宿にしています。既にスウェーデンやスロベニアWCは延期になっています。それ以降の海外大会は12月に最終判断が出る予定です。

IDノルディックチームの事業計画について説明がされた。IDチームの国際大会が中止の予定なので、1月の全日本のレースを2レース増やすことを検討しています。また、札幌のWCにIDの選手が参加出来るように検討しています。

大日方：スノーボードチームの事業計画について説明がされた。5チームの中で一番最初に海外遠征の予定があります。この遠征時の対応を今後の各チームの海外遠征事業の参考にさせていただきます。

2. ワールドカップの国内開催について

保科：前回報告した時には、アルペンとノルディックのワールドカップ国内開催を計画していましたが、アルペンはロシアWCとの日程が重複することと、コロナ禍で2つの国際大会を開催することは出来ないと判断して、ノルディックの札幌大会を3月17日から20日まで白旗山で開催の予定です。アルペンはアジアカップに変更して2月25日から白馬での開催を計画しています。

JPSAにワールドカップ国内開催について相談に行ったところ、コロナ感染リスクのある中で国際大会を開催することについて、感染防止策を完璧にして相当の準備をしなければ開催については消極的な考えを持っていることが分かりました。

また、来日した海外選手の行動を見張り管理するための費用がかさむ問題も抱えています。現状では、12月に最終判断をする予定です。

椎名：JPSAの考えは、国内開催の国際大会で感染者を出した場合、東京オリパラ開催への影響は免れないということです。出来れば定期総会までは決定したいと考えています。

3. 監事による監査について

鈴木：10月1日に監事の大内さんと宮田さんにNPO法に基づいた会計監査と業務監査を実施してもらいました。大きな問題点もなく、適正に会計処理や連盟運営が行われているとの講評でした。

4. 適合性審査について

石丸：ガバナンスコードに基づく適合性審査は10月中に回答を行うべく、古市さん・鈴木さん・保科さん・隅野さん・大日方さんと私のメンバーで検討を続けています。期日までに回答出来るように進めていることを報告した。

5. コンプライアンス研修について

古市：外部業者に委託して役職員、選手、スタッフ向けのコンプライアンス研修（特にハラスメントについて）を計画しています。今月中に常任理事会のメンバーで試しに研修を受けてみて、内容が良ければ役職員や選手・スタッフ向けにも実施していきます。

鈴木：スポーツ団体向けの研修が出来る業者を探してみました。現在、10名程度で今月中に実施する方向で打ち合わせを行っています。

6. 広報委員会からの報告

隅野：現在、インスタは連盟でひとつのアカウントで運営していますが、今後はチーム毎に変更して情報発信してもらえるように考えています。写真が情報のほとんどなので問題はないかと考えています。その他の取り組みについては資料を参考にしてください。

7. WPSS NATIONS MEETING について

大日方：COVID-19のガイドラインが発表されました。レースカレンダーについては、今シーズン最優先する世界選手権は12月4日に、次に北京プレ大会は12月8日に、WCは大会開始30日前に開催の判断を行うとのことです。

コンチネンタルカップ（アジアカップも）は2か国以上の参加が条件ですが、タスクフォースチームで1か国でも開催出来ることもあると聞いています。

スポーツ庁より帰国後14日隔離の緩和措置が発表されたが、未だ制限が多いので海外遠征は現状難しい状況です。

【その他】

1. 普及委員会事業計画について

安藤：スノーボードのサポーターズカップと北海道普及講習会の日程が変更になりました。また、サポーターズカップは競技は1日のみとなりました。

2. 10月25日の定期総会について

石丸：定期総会は常任理事会で協議の結果、集合形式で開催します。日本財団ビル2階の第1から第4会議室でソーシャルディスタンスを保った形で開催します。

当日は、10時から理事会を開催して役員の改選を行いますので出来るだけ多くの方に出席をお願いします。

総会資料は、10月14日に正会員向けに郵送します。

3. 今後の会議日程について

石丸：昨年と同じような日取りで理事会と常任委員会の日程を決めて一覧にして配布しましたので、予定に入れておいてください。

以上、審議事項、報告事項、が全て審議、報告され、議長より閉会の通告があり、理事会を終了した。

2020年10月10日

議事録署名人

議 長 椎名 茂

理 事 古市 隆一

理 事 隅野 礼雄